

(事後評価)

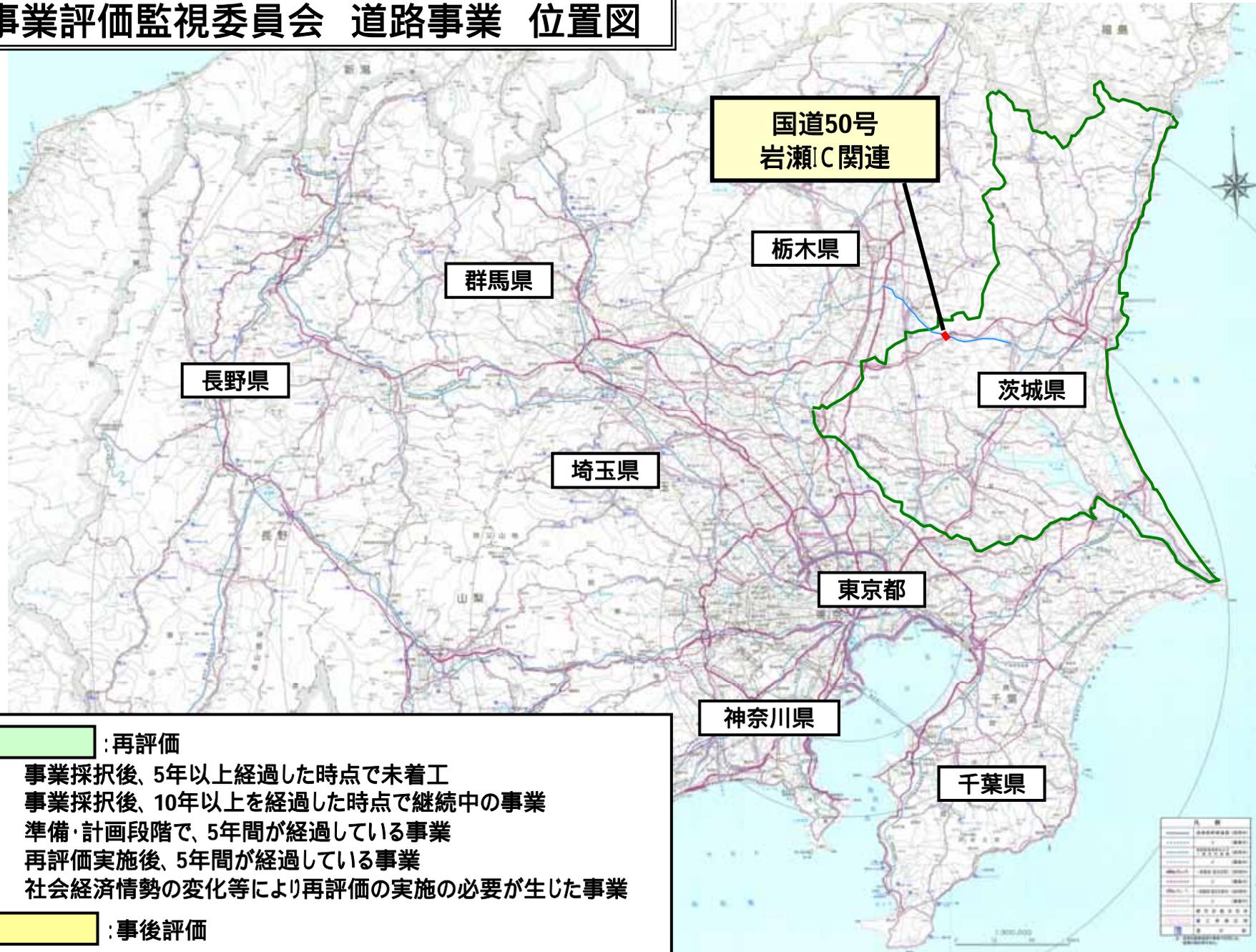
資料 1 - 6
関東地方整備局
事業評価監視委員会
(平成21年度第1回)

国道50号 岩瀬IC関連

平成21年6月23日

国土交通省 関東地方整備局

事業評価監視委員会 道路事業 位置図



2. 費用対効果の算定基礎となった要因の変化

(1) 費用対効果分析条件等の比較

・現時点では、周辺道路のネットワークが未整備であるため、新規事業採択時の予測交通量を下回る利用交通量が観測されている。

	新規事業採択時 (H11年度)	事後評価	変化及びその原因等	再評価 からの変化
B / C	2.4	1.7	・周辺道路のネットワークが未整備のため。 北関東自動車道全線未開通、国道50号の未整備 (桜川筑西IC関連(延伸)、協和バイパス、下館バイパス) ・B / Cマニュアル改訂に伴う原単位の低下	- 30%
事業費	60億円	73億円	・埋蔵文化財調査及び関係機関との協議による側道、 調整池等の追加整備による増額のため。	+ 13億円
事業 期間	平成11年度 ～平成18年度	平成11年度 ～平成19年度	-	-
供用年	平成19年度	平成19年度 (平成20年3月29日開通)	-	-
岩瀬IC関連 利用交通量	17,600台/日 (ICアクセス道路)	5,000台/日 (平成21年1月実測値) 〔 8,200台/日 (将来推計値(H42)) 〕	・周辺道路のネットワークが未整備のため。 北関東自動車道全線未開通、国道50号の未整備 (桜川筑西IC関連(延伸)、協和バイパス、下館バイパス)	- 72% (- 53%)

2. 費用対効果の算定基礎となった要因の変化

岩瀬IC関連の交通量に影響を与えると想定される事業

国道50号の整備: 桜川筑西IC関連(延伸)等

岩瀬IC関連より以西の国道50号(桜川筑西IC関連(延伸)等)が整備され、東西方向のアクセス機能強化

周辺道路から岩瀬IC関連への転換促進

北関東自動車道(栃木県～群馬県)の開通

北関東3県を中心とした広域的な交流が活発化

北関東自動車道を利用した交通が発生

国道50号の事業計画



北関東自動車道の開通状況



3. 事業の効果の発現状況

(1) 渋滞緩和

・岩瀬IC関連(北関東道含む)の供用により、国道50号の渋滞緩和が図られている。

国道50号の渋滞損失時間の変化
(桜川市中泉～桜川市長方 [L=1.0km])

【供用前 H20.03】

渋滞損失時間：約7.2万人時間/年



北関東自動車道 笠間西IC～真岡IC未開通

【供用後 H21.01】

渋滞損失時間：約6.1万人時間/年



北関東自動車道 笠間西IC～真岡IC開通

渋滞損失時間	
■	～ 5万人時間/年・km
■	5～10万人時間/年・km
■	10～20万人時間/年・km
■	20～ 万人時間/年・km

資料：< 供用前 > プロブ調査結果・交通量調査結果 (平成20年3月)
< 供用後 > プロブ調査結果・交通量調査結果 (平成21年1月)

国道50号の交通状況

【供用前 H20.03】



国道50号(岩瀬IC関連供用前)

【供用後 H21.01】



国道50号(岩瀬IC関連供用後)

3. 事業の効果の発現状況

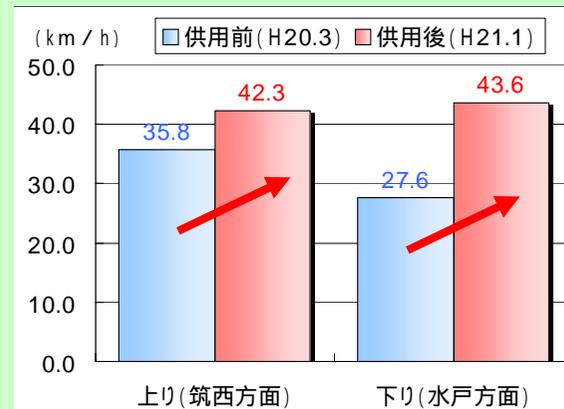
(2) 物流効率化の支援

- ・岩瀬IC関連周辺(桜川市)には、5つの工業団地が立地。
- ・岩瀬IC関連の供用により、桜川筑西ICへのアクセス性が向上(ピーク時旅行速度上り35.8→42.3km/h、下り27.6→43.6km/h)し、物流機能の強化・企業活動の活性化に寄与。
- ・また、茨城県が策定する「県土60分構想¹」を支援。

桜川筑西ICへのアクセス性が向上



国道50号のピーク時間旅行速度の変化 (桜川市中泉～桜川市長方 [L=1.0km])



資料: プローブ調査結果 (H20.03 / H21.01)

1: 県土60分構想 (茨城県)

茨城県内の高速交通軸を早期に形成するとともに、**高速交通網に直接アクセスする道路**や地域間を緊密に連絡する国道など幹線道路網の整備を進め、速さと定時性に優れた道路の形成をめざして、県内主要都市が概ね60分で交流可能となるような道路整備を進める。

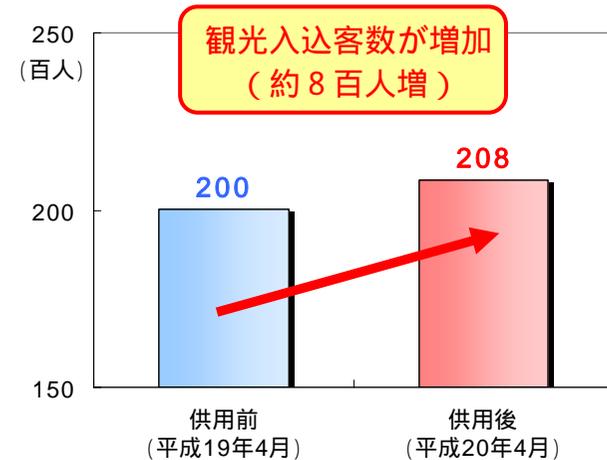
3. 事業の効果の発現状況

(3) 観光産業の支援

・岩瀬IC関連および北関東自動車道(茨城県～栃木県)の開通後、桜川市の主要観光地の入込客数が増加。広域交流の促進、地域経済の活性化に貢献。



雨引山楽法寺の観光入込客数の変化



マダラ鬼神祭(日本二大鬼祭の一つ): 毎年4月第二日曜日に開催

資料: 桜川市商工観光課



桜川のサクラ



雨引山楽法寺
(マダラ鬼神祭)



真壁の町並み
(真壁のひなまつり)

資料: 桜川市商工観光課



休日でも走行がスムーズに

国道50号の4車線化により、休日でもスムーズに走行できるようになりました。県外観光客が慣れない道でも、広い道路を利用し、安全に来訪できるというメリットもあります。

(雨引山楽法寺)

4. 今後の事業評価の必要性及び改善措置の必要性

費用対効果の算定基礎となった要因の変化

- ・現時点では、新規事業採択時の予測交通量を下回る利用交通量が観測されているが、今後のネットワーク整備により交通量の増加が見込まれる。

事業効果の発現状況

- ・岩瀬IC関連の供用により、現国道50号における「渋滞緩和」、岩瀬IC関連周辺地域の「物流効率化の支援」といった効果が発現していることを確認。



- ・以上のことから、本事業は、渋滞緩和、物流効率化の支援等の効果が発現されており、さらなる事業評価及び改善措置の必要はないものと考えられる。